

# ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

特集

身近な政治を考える  
＜投票率向上のために＞



第146号

発行 / 新発田市議会  
編集 / 広報広聴委員会



① 新発田高校ラグビー部は新発田南高校・村上高校との合同チームです。  
この日は新発田南高校のラグビー部との合同練習でした。(平成4年12月16日・新発田高校体育館にて)

# 身近な政治を考える ＜投票率向上のために＞

市議会だより(ヨミネスしばた)では、市民の皆さんに政治、特に市政に興味・関心を持ってもらうため、誌面の見直しに取り組んできました。一方、興味関心のバロメーターである選挙の投票率が低下の一途をたどっています。(※4ページ参照)

今回の市議会だよりでは、市民の皆さんに投票所へ足を運んでいただきたいという思いを届けます。

## ま ち の 声

市民の方々は選挙について、どのように考えているのでしょうか。いろんな世代の皆さんの声を聞いてみました。

**イクネスしばたこどもセンターで子育て真っ盛りのパパ・ママから聞きました！**



- 選挙に行っているかどうかの調査では毎回行くが75%、行っていないが25%。そのうち行かない理由については、子育て中で忙しく、情報が取れない、子どもを連れて行きづらい等の声があった。
- 投票率向上のためには、投票所を子育て支援センターの隣にする、託児所があるなど子どもへの配慮が必要。
- イベント会場の近くに臨時投票所を設けたり、電子投票、SNSなどで投票ができればよい。
- 政治の情報発信については、アイドルやアニメなど若い人の関心のあることで選挙啓発を行う。SNSや若い人が見る媒体を利用すべき。

子育て世代においては、子育てや仕事に追われ、ニュースや新聞の媒体での情報を受け取りづらく、SNS等での情報発信が重要であり、投票行動に際しては、子どもを連れて投票に行きたくするような工夫や配慮が必要と感じました。

## 中央町5丁目ときめき週1クラブの皆さんから聞きました！



- いつも投票しているが、もっと政治や行政についてわかりやすく説明してほしい。
- 若い人の意見を聞く場を設けたら投票に行くのでは。
- 政治家の不祥事がなくなれば投票に行くのでは。
- 投票所の利便性を考えてもらいたい。町中はよくても周辺部は交通の便が悪く投票に行かないのでは。

ほとんどの方が、毎回投票に行くと答え、関心の高さがうかがえました。

## 敬和学園大学で学生さんに聞きました！

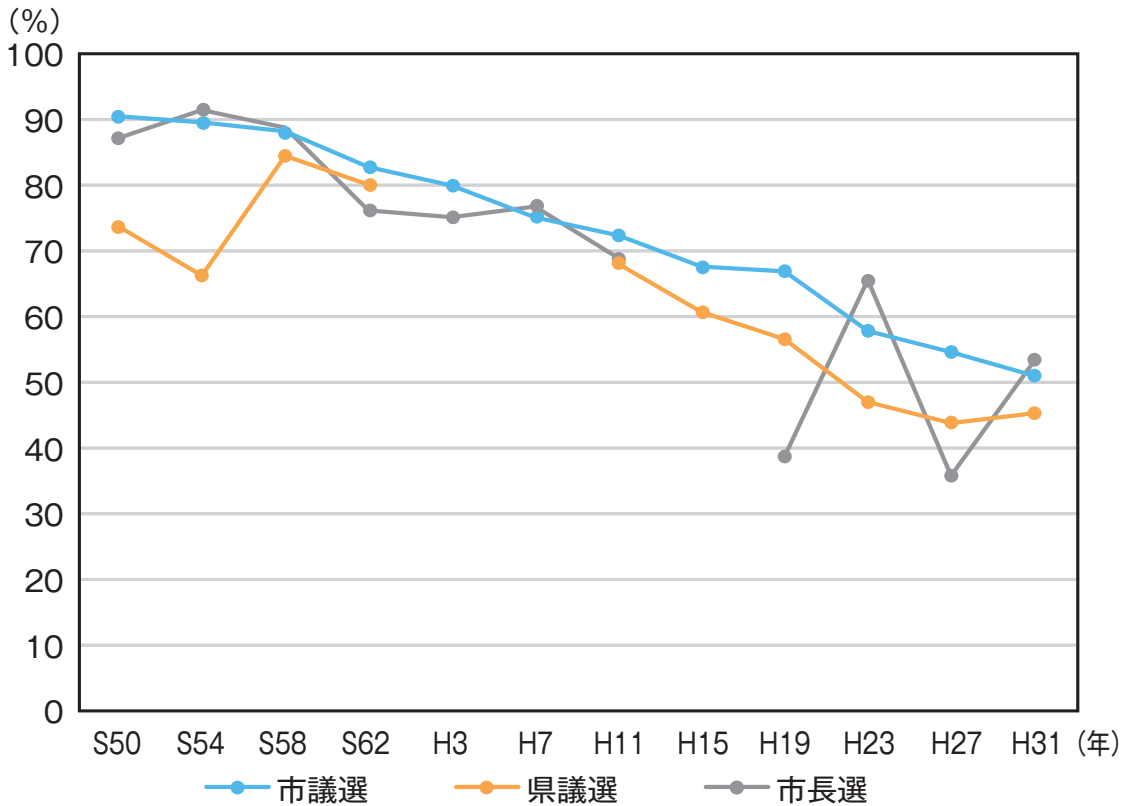


- 若者は実利がないことはしない。投票に行って利益があれば行く。若者のためになる政策をSNSなどで発信すべき。(沼澤)
- 候補者がだれで、候補者がどんなことをしたいのかわからず判断できない。(妻島)
- アニメかマンガとコラボして、若者文化と選挙の合体を図ったらどうか。(岸田)
- 市議の活動が住民にどんなメリットがあるかわからないので、市議選は行かない。何が何でも公約を作るべき。(木村)

向かって左から沼澤航也さん、妻島優斗さん、岸田瑠々さん、木村咲希奈さん(いずれも敬和学園大学国際文化学科)

今後の新発田市に望むこととして、働く場を増やすことと賃金上昇、公共交通の充実、家賃の低減などのほかに、商店街の活性化や映画館は必須などが挙げられました。  
また、「ここ(敬和学園大学)に投票所があれば投票する」というのが一致する意見でした。

## 投票率の推移



※市長選は、表示年の前年に施行しています  
 ※H3、H7の県議選、H14の市長選は無投票

## 議会の取組み

**市議会は、投票率向上対策について活発な議論を重ねてきました。**

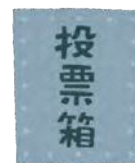
- 一般質問で多くの議員がこの問題を取り上げ、投票率低下の要因とその対策、大型商業施設での期日前投票所の設置、18歳選挙権への若者への啓発、情報発信教育現場での主権者教育などを議論してきました。
- 特に平成27年10月に選挙管理委員会から投票所の廃止・統合案が示された時は大いに議論がなされました。選挙権が18歳に引き下げられるタイミングに出された案に対して多くの議員が疑問を呈しました。その後、関係住民を中心に署名運動がなされ、市議会の有志もその後押しをし、廃止・統合案は撤回されました。
- 市議会は、増加する期日前投票に便宜を図るため、大規模商業施設に期日前投票所を設けることを念頭に選挙管理委員会とともに調査、議論を重ねました。その結果、平成31年4月の県議選からイオンモール新発田に期日前投票所を開設することができました。



イオンモール新発田内期日前投票所  
 (平成31年4月施行 新発田市議会議員一般選挙)

## 市議会の役割

### 市議会議員選挙は最も身近な選挙です。



- 市議会は、皆さんが納めた税金の使い道を決める最も身近な機関です。  
市民の皆さんから直接選挙で選ばれた議員によって構成され、市民の代表として、市政に市民の要望を反映させるために議論をする場です。
- 主な役割としては、市の予算の決定や決算の認定、条例の制定や改廃、契約の締結などの重要な事項を審議し、市議会としての意思を決定する議決機関です。  
新発田市議会は、約500億円の一般会計予算の審議をはじめ、市民生活に直結する予算・決算、条例などの決定のため、年4回の定例会をはじめとする審議をしています。
- 一方で、市議会での議決をもとに行政運営を行うのが市長であり、執行機関です。  
議決機関である市議会と執行機関である市長は、対等な立場にたち、相互の均衡を図りながらまちづくりを進めています。
- 市政運営に係る重要な意思決定と行政執行に対する監視機能など、市議会の役割はますます大きくなっています。

## ～市議会は、今後市民の皆様のため、 改革を続けます～

### 議会報告会等の見直し

市内各所に議員が出向いて行う議会報告会に加え、YouTubeを通じてWeb（ウェブ）議会報告会を開催しています。

今後もより市民の皆様との意見交換が活発にできるよう、声が市政に反映されるよう工夫を試みていきます。

まずは、投票所に足を運んで、あなたの大事な一票を託す人物を見極めてください。



12月2日のWeb議会報告会

私たち議員も皆様の負託に応えるべく精進してまいります。

## 10月臨時会

### 物価高騰の緊急支援として給付金を支給します

- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業

#### <社会文教常任委員会>

国の電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援として、住民税非課税世帯等に5万円を支給します。



### 今・得プレミアム商品券を発行します

- 緊急経済対策事業

#### <経済建設常任委員会>

物価高騰の影響を受けている市民・事業者を支援するため、プレミアム率50%の「今・得プレミアム商品券」を3万冊販売します。



※商品券は完売しました

主な議案等に対する賛否の一覧 詳細およびここに記載以外の議案は市議会ホームページをご覧ください。



10月臨時会



12月定例会

10月臨時会	議第54号	新発田市一般会計補正予算第8号	賛成多数
12月定例会	議第58号	新発田市個人情報の保護に関する法律施行条例	賛成多数
	議第60号	蔵春閣設置及び管理に関する条例	賛成多数
	議第65号	新発田市一般会計補正予算第9号	賛成多数
	議第72号	新発田市一般会計補正予算第10号	全員賛成
	陳情第3号	マスク着用・非着用による差別や誹謗中傷をなくす取組	賛成なし
	陳情第4号	民主主義の根幹である法の下での平等を守る為の陳情	賛成なし
	議会第5号	免税軽油制度の継続を求める意見書	全員賛成

# 主なものをご報告します。

## 12月定例会

加治川地域が「過疎地域(一部過疎)」に指定されたことを受け、  
過疎地域持続的発展計画を策定します

●新発田市過疎地域持続的発展計画の策定

<総務常任委員会>

この計画は過疎地域の持続的発展に係る取り組みやその方向性、事業計画等を定めるものです。計画の事業には国の支援策が講じられます。

蔵春閣(令和5年4月開館予定)に必要な条例を制定します

●蔵春閣設置及び管理に関する条例制定

蔵春閣は令和5年4月29日からの一般公開を予定しています。入館料は大人1人500円とし、お茶と和菓子を提供します。

<総務常任委員会での質疑>

Q 入館者数の見通しは。

A 年間で1万人から1万8,000人ぐらいを見込んでいる。

妊産婦の医療費助成を拡充します

●新発田市妊産婦医療費助成に関する条例の改正

<社会文教常任委員会>

妊産婦医療費助成の対象要件について、令和5年度から所得制限を撤廃します。

また、医療機関窓口で助成を受けられるようになります。



加治川有機資源センターに新たな機能を追加します

●有機資源センター長寿命化改修事業

令和5年度に行う大規模改修について、堆肥ペレット化やスタディ・ツーリズムにも対応可能な機能追加を行います。

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 工事期間の堆肥製造への影響は。

A 畜ふん等の搬入制限は必要となるが、搬入する畜産農家に影響が出ないように努めたい。

冠水被害防止対策を行います

<経済建設常任委員会>

- ・排水対策として上中山地内に排水ポンプを設置します。
- ・令和4年6月と8月の豪雨により発生した緑町地内本丸中学校前の道路冠水の防止対策として、排水ポンプ施設を設置します。



妊娠届出・出生届出にそれぞれ5万円を給付します

●母子保健活動事業

妊娠届出時と出生届後にそれぞれ5万円、計10万円の現金給付を行います。あわせて、妊娠から子育てまでの間、一貫して同じ保健師がサポートする伴走型の相談支援を更に拡充します。

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 支給の対象者は。

A 令和4年4月1日以降に、妊娠もしくは出産届を出した人に遡って支給します。

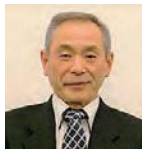
## 一般質問

# 今後の生活 どう変わる？どうなるの？

### 一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案したりしました。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



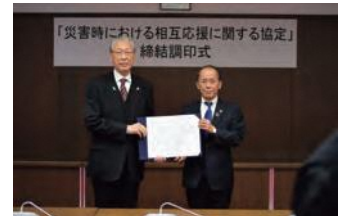
### Q1 佐々木盛綱を縁で結ばれた海老名市との交流 Q2 コミュニティスクールの進捗状況は

▶ 今田 修 栄 議員

- Q 令和3年11月8日、海老名市役所で防災協定が締結され間もなく、令和4年2月から新発田産の米を海老名市の学校給食で使用していただいているが、今後も継続されていくのか。
- A 海老名市からは最高のお米として評価され、継続した購入の意向をいただき、高価格での取引にご理解いただいている。
- Q 令和3年9月定例会以後、コミュニティス

クルの進捗状況はどうなっているか。

- A しばたの心継承プロジェクト推進委員会の活動の成果を検証し、国が定める学校運営協議会を設置したコミュニティスクールへの移行を考えている。



### Q1 当市の国民保護計画の現状と在り方について Q2 コロナ禍での健康寿命延伸対策について

▶ 渡 邊 葉 子 議員

- Q 緊急一時避難施設指定の現状は？
- A 県と連携し学校施設を中心に156施設を指定。
- Q Jアラート発令時の避難行動を具体的に把握し伝えているか？
- A ホームページで閲覧可能だが、今後広報にも掲載し周知を図っていく。
- Q Jアラートを想定した実践的な訓練が必要ではないか？
- A 国、県に対し要望し検討していく。

- Q コロナ禍による健康寿命への影響の認識と対応は？
- A 令和5年度から「アクティブシニア健診」を実施し対策を講じていく。
- Q 全世代で取り組めるプログラムやツールを検討してはどうか？
- A アプリの導入・活用の検討を進める。







**Q1 肥料価格高騰について**  
**Q2 児童広場の遊具等について**

▶ 渡邊 喜夫 議員



- Q 国際情勢に伴う肥料価格高騰が農業経営に影響。当市の肥料高騰対策は
- A 県、関係機関と協議し効率的な生産経費の低減策等を検討
- Q 土壌診断で施肥設計の見直しができる。診断ニーズと実態は
- A 今年度の診断申請数53件で年々増加
- Q 堆肥の活用は化学肥料の代替えとして土づくりにも有効。利用促進は

- A 鶏糞は県と利用拡大の協議を継続。市は有機JAS認証の堆肥とペレット化の研究を進める
- Q 市内に90か所の児童広場がある。遊具設置と入替え待機状態は
- A 15基設置。住民要望の遊具はあと2年でクリアするが来年度に設置を指示した



**Q1 新発田川沿いに造られる親水広場工事について**  
**住民の理解を得ることが重要**

▶ 青木三枝子 議員



- Q 8月豪雨で越水した予定地の20cmの嵩上げは適切か
- A 左岸の予定地は右岸と差があるので、高さを合わせる上で20cmの嵩上げは適切
- Q 幼児等転落防止対策として注意喚起の看板設置等では対策が不十分
- A 最良の対策をとるが親がしっかり見ていることが重要
- Q 川幅が狭くなるが40mmの雨量に対応できること。それ以上の雨量に対応可能にできないか

- A それをするには余程の国の補助事業がない限り困難
- Q なぜ家屋が隣接する狭い場所に広場を造るのか
- A 撤退したウオロクからの土地寄贈であり活用したい



**Q1 学校給食無償化の検討について**  
**Q2 補聴器購入助成制度の現時点での状況は？**

▶ 佐藤 真澄 議員



- Q 市長のまちづくり実行プランの中で、「学校給食に新発田の特産食材を使うとともに、給食費の全額無料化に向けて検討を進めます」とあるが、無償化に向けての具体的な考え方について。
- A 4期目のまちづくりを進める上で、保育料の無料化と学校給食無償化が有効であるが、検討を進める最大の課題は、毎年4億円の財源確保であり、相当の覚悟がなければ実

- 現できない。十分に精査し検討したい。
- Q 補聴器購入費助成制度は4月にスタートしたが、状況・成果・課題について。
- A 当初の予算を上回り、今定例会に予算議案を提案した。





### Q1 市の有害鳥獣対策、特にイノシシについて 取り組んできた対策の経過と結果を伺う



▶ 湯浅佐太郎 議員

- Q イノシシ対策で、鳥獣被害防止対策協議会の活動状況と被害状況・捕獲状況について
- A 市及びJA北越後、猟友会と関係機関で、被害防除と捕獲等個体管理している。捕獲数は2年度で110頭、3年度で71頭
- Q イノシシのくくり罠の技術普及の現状と猟友会の高齢化の現状、県や他市との連携について今後情報連携を一層深めて欲しい

- A 今年度から捕獲担い手育成事業として、ICT機器で捕獲効率向上を図る。専門家と連携し、山奥の10頭より農地周辺の1頭の考えで進める



### Q1 コミセンに電気代・燃料費の支援を Q2 介護人材確保のための支援を



▶ 阿部 聡 議員

- Q 電気料・燃油高だ。コミュニティセンターに対する電気料・燃料費を支援すべきではないか。
- A 市内10ヵ所のコミセンに対し、今年度上半期値上げ相当額を議案として提案する。
- Q 介護人材の一部を外国人に頼っている。人材確保のため、支援すべきではないか。
- A 影響はすべての事業所に及ぶ。外国人を雇

- 用する事業所のみ支援は考えていない。
- ※他に飼料高対策として牛乳買入価格の値上げについて質問した。



### Q1 小中一貫教育校・義務教育学校について



▶ 五十嵐良一 議員

- Q 小中学校一貫した教育の基本的考え方の柱として、どのようなことを目指し、どのようなことができるかを小中学校職員で話し合う合同研修会を開催し、総合的かつ、学習効果の向上に繋げるかなどを含め、試験的に小中一貫教育のモデル校を行ってはどうか。
- A 県内では義務教育学校や小中一貫校が少ないため、学校運営や教育活動、指導方法等について、教職員の理解が十分でないこと

- から、今後は、教職員を対象とした研修会を実施できるか検討する。また、小中一貫教育のモデル校については、今後調査研究を進めたい。



小中一貫教育校



**Q1 貴重な植物調査事業報告はどう生かされたか**  
**Q2 新発田市の教育に関わる現状の課題について**



▶ 三母 高志 議員

- Q 報告で提案しているムジナスゲ等の保全対策は実施されたか、また生育地の保全並びに利用環境の整備は実施されたのか？
- A 報告が作成された直後以外には実施していない。また環境整備もしていない。今後は調査や木道の更新など対策を考えたい。
- Q 学校現場では多忙化や代替教員が確保できない等で教育の根幹である教師が子どもたちと向き合う時間が奪われている。今後の

対策について伺う。

- A 現在2名の代替職員確保ができていないが1日も早く確保したい。来年度のスクールサポートスタッフの11校への配置を県に要望している。



升漏の木道と水芭蕉



**Q1 4期目の市長は独自政策に着手できるのか？**  
**従来のできない政策がなぜ変化したのか？**



▶ 小柳 はじめ 議員

- Q 3期目の公約であった保育料全額無料化に取り組むとあるがその内容は？
- A 9千万円の財源が必要になる上、待機児童発生などの恐れも有り慎重に検討する
- Q 給食費無償化は財源を理由にできないとの立場から今回の公約では取り組むに変わった。その変化は？
- A 義務教育完全無料化だと新たに4億円が継

続的に必要になるが行政改革や事業の見直しにより支給条件の拡大から取り組む

- Q 「市独自ではやらない」との従来答弁だった独自の奨学金返済支援制度の制度設計は？
- A 国の制度が変わり、若者のUターン支援のため制度構築を指示した



**Q1 観光誘客の推進について**  
**～アニメツーリズム(聖地巡礼)の推進を～**



▶ 小林 誠 議員

- Q 観光誘客策としてアニメ上の人物や土地を巡る旅(聖地巡礼)が人気であるが取組みについて
- A ぜひ取り組みたい
- Q アニメ「ゴールデンカムイ」の聖地として白壁兵舎に訪れる人が増えているが、聖地選定に向けた取組みは
- A 「行ってみたい日本のアニメ聖地88」の選定

に向けて、関係各所と協力して市をあげて取り組みたい

- Q 聖地選定後に城址公園等でアニメフェスを企画できないか
- A 聖地選定されたらぜひ取り組んでみたい





**Q1 柏崎刈羽原発の再稼働は中止すべき**  
**Q2 再エネ電力はEUのように接続義務化すべき**

宮村 幸男 議員



- Q** 危険な原発の新增設や再稼働は中止をし、再生可能エネルギーを推進する時だ。原発避難計画は豪雪等安全に無理があり、再稼働は中止すべきでは。
- A** 再エネ転換は私も賛成だ。地球温暖化防止上、火力発電を再エネに置き換える必要がある。検証報告書では県に検討、対応、訓練の検証を求めている。

- Q** 現在、再エネ電力は、原発や火力電力最優先のため、過剰時に接続が拒否される。接続は義務化が当然でないか。
- A** 温暖化防止に矛盾した系統接続ルールになっている。国は認識しており、接続ルールを見直す予定になっている。



**Q1 低所得者への物価高騰対策について**  
**Q2 佐々木の産業廃棄物焼却施設の稼働について**

加藤 和雄 議員



- Q** 福祉灯油の支給はできないか
- A** 国や県の動向を注視し、状況に応じ迅速かつ適切な支援をしていきたいと考える
- Q** 市独自で臨時給付金の拡充はできないか
- A** 家計が急変した世帯も対象となっている
- Q** 焼却施設は木くずなどの産業廃棄物と特定有害産業廃棄物などの特別管理廃棄物を扱う。正式稼働したのはいつか。市は立会いましたか

- A** 令和4年8月29日に本格稼働。立会いはしていない
- Q** 市で初めての特別管理産業廃棄物焼却施設だ。公害防止の決意は
- A** 有害物質を含む焼却炉であり、焼却時や焼却前後においても細心の注意が必要な施設と認識



**インターネットで生中継します！**



市議会ホームページでは、本会議のインターネット生中継を行っています。

パソコンやスマートフォンなどで本会議の様子が視聴できます。また、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。

なお、ご視聴の際は、市議会ホームページに掲載の「ご利用案内」等をご確認ください。

本会議の生中継は、本庁舎1階ロビーのモニターでも行っています。ぜひご覧ください。



# 議会報告会を開催しました

11月26日、27日に、5会場で計6回、議会報告会を開催しました。

報告会では、令和3年度一般会計決算関係を中心に9月定例会で審議された内容を説明したほか、参加された皆さんと活発な意見交換を行うことができました。

いただいたご意見等は、今後の議会活動に反映させていきたいと考えています。

参加者数 (人)

26日	午前	五十公野コミュニティセンター	2
		東豊コミュニティ防災センター	7
26日	午後	本庁舎	12
		豊浦地区公民館	8
27日	午前	本庁舎	5
	午後	加治川地区公民館	7

## 会場での主な質疑応答

- Q 物価上昇で市民生活が苦しくなっているが、市民への支援策や今後の取組みは。
- A 市長は他市に比べ先進的に様々な支援策などに取り組んでいる。今後の取組みは市長4期目の課題であると捉え、議会で論議していく。
- Q 上下水道の使用料は電気料金が値上がりしても据え置きでお願いしたい。
- A 上下水道も電気使用量と密接に関係している。料金改定の見直しが5年毎に行われるのでしっかり傾注したい。



## 参加者からの主な意見等

- 紫雲の郷について他市の事例を見習い何とかできないか。
- 蔵春閣も維持管理に経費がかかることからビジョンを持って活用してほしい。



# Web議会報告会を配信しました

12月2日に、動画投稿サイト「YouTube（ユーチューブ）」を利用してWeb議会報告会をライブ配信しました。

当日は午後7時から配信を開始し、令和3年度一般会計決算の内容を中心に説明しました。

ライブ配信をすることで若い方にも議会に興味を持っていただき、コメント機能を使ったリアルタイムの意見交換がしたい、という思いで令和2年度に試行的にスタートしてから今回で5回目。

今後も定期的に配信を続けていきたいと考えています。



# 視察の報告



## 議会運営委員会

議会改革の取組みについて

11月10日 東京都町田市



11月11日 神奈川県藤沢市



## 社会文教常任委員会

高齢者フレイルについて

10月24日 三重県津市



藤枝プロジェクト(健康寿命延伸施策)について

10月25日 静岡県藤枝市



## 総務常任委員会

SDGs 未来都市、  
バイオマス産業都市構想について

10月31日 岡山県真庭市



市民協働のまちづくりの取組みについて

11月1日 広島県東広島市

市街地再開発事業(新山口駅周辺地区整備事業)

11月2日 山口県山口市



## 経済建設常任委員会

水田転換による野菜等の園芸振興について

11月14日 山形県鶴岡市



11月15日 秋田県横手市



11月16日 秋田県湯沢市

# 議会からのお知らせ

## 2月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23	24	25
			議会運営委員会			
26	27	28	3/1	2	3	4
本会議 (提案理由説明)			本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
予算審査委員会 (財務課長説明)					議会運営委員会	
5	6	7	8	9	10	11
	常任委員会 (総務) (社会文教) (経済建設)			予算審査委員会 (第3セクター)		
				議会運営委員会		
12	13	14	15	16	17	18
本会議 (一般議案・補正予算採決・会派代表質問)	予算審査委員会 (総務関係) (社会文教関係) (経済建設関係) (市長総括質疑)					
19	20	21	22	23	24	25
	議会運営委員会			本会議 (一般会計 新年度予算 議案等採決)		

※請願・陳情の提出期限は2月17日です。  
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。  
 ※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

## 本会議を生中継しています

本会議（定例会のみ）の開始（午前10時）から終了まで中継しています。

### 1 FM放送

エフエムしばた（76.9MHz）で生放送します。



### 2 インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページのバナーから聴くことができます。



### 3 インターネット生中継

市議会ホームページで生中継します。下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

## 赤穂義士の法被姿で本会議に臨みました



赤穂義士四十七士の一人で、当市出身の堀部安兵衛の生誕地を広く市内外に発信しようと、赤穂義士が討ち入りを果たした12月14日を前にして、市議会定例会初日の12月1日に、赤穂義士の法被を着用して本会議に臨みました。当日は、テレビ局や新聞社から取材を受けました。

今後も、市議会として、新発田市を積極的にPRし、盛り上げていきたいと考えています。



# SHIBATA TOPICS

## キラキラ輝く若いチカラ



### 「ラグビーに、いないメンバーはない」(白井顧問)



「自分のメンバーが誰かの役に立てるのがすごく嬉しい。あと他の高校と一緒に考えると視野が広がります」  
(高1年、阿部敬太さん)



表紙写真



写真説明/表紙①この日は新発田南高校と合同練習 ②③パス練習。相手の行く方向を予想しながら自分の位置を決める ④ボールキャリアーに対してタックルに入る練習。かわされないように、しかもボールを殺すように ⑤指導する面々。向かって左から、やたら明るい片峯久先生(南高校)、顧問の白井洋平先生、監督の笹川敬史先生、そして一人クールな澁谷剛先生(南高校)。「合同チームなので、学校ごとに考え方が多少違いますが、それを尊重し合う関係が練習を通して自然に出来ていきます。また、指導者も多いので、いろんな角度からほめてあげられる。それが子どもたちの成長につながります」(笹川監督)

「できれば全部の生徒にラグビーをさせたい、と思います。ラグビーでは誰もがかけがえのない役割を持っています。すばしっこい子、ひたむきな子…みんな大切」(笹川監督)

県立新発田高校は「芝高」の愛称で親しまれている伝統校です。明治30(1897)年に北蒲原尋常中学校として開校、130年近くの歴史に彩られ、幾多の「俊傑(しゅんけつ)」を世に送り出しました。「俊傑」とは校歌にもあり、「質実剛健にして未来の俊傑を目指す」と校是にもあります。

平成8(1996)年に理数科が設置され、平成24(2012)年からは総合的な学習の時間で「未来の俊傑プラン」を開始、平成25(2013)年にはSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定され、現在も続けられています。

スポーツ面でもかつては柔道部などが全国制覇したり、今回紹介のラグビー部も花園(全国大会)に出場するなど、活躍しています。ここ数年は部員不足に悩まされていますが、多様性を先取したスポーツらしく、新発田南高校・村上高校と合同チームを結成、部員7人ながら、芝高ラグビー部出身の白井顧問、笹川新監督を迎え、「自分の存在がチームを強くする」との強い意識のもと、新たなスタートを切りました。

新発田高校

検索

#### 編集後記

新潟の冬は灰色の雲と白い雪。雪を観光資源に働くまちにとっては天から降り注ぐ雪は時によりお札にも見えると聞いたこともありますが、どちらかと言えば私は白い雲と明るい太陽の方が好きです。

自然の天候には逆らえませんが、最近は園児虐待や送迎バスに園児置き去り等、心が凍てつくような事件が後を絶ちません。子どもがうるさいからと公

園を閉鎖する自治体まで…。どうして。何で。人の心もときおり灰色の雲におおわれるのでしょうか。

人口減少、少子化といった問題を誰もが当たり前前に認識している今、未来を担う子どもたちと子育て世代を地域で支えるネットワーク体制づくりに取り組んでいくことが、とても大切だと考えています。

(文責・石山洋子)

【広報広聴委員】委員長/宮崎光夫 委員/板倉久徳・阿部聡・小林誠・加藤和雄・石山洋子